

平成のお父さんを考える。



お父さんといえば少し前までは「亭主元気で留守がいい」などとお母さんたちにいわれ家の中ではとても影が薄かったのですが、最近は「育児をしない男は父とは呼ばない」などと急に世間で注目をあびるようになりました。

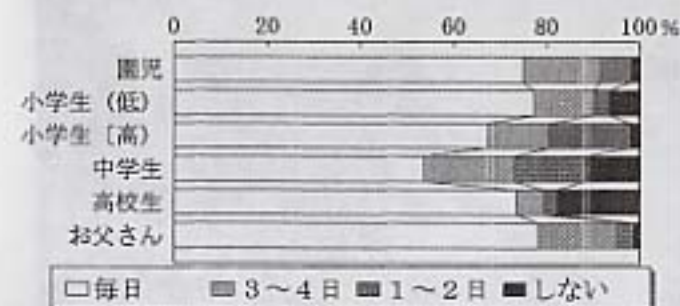
そこで今回はこれまで脇役に追いやられていたお父さんに光をあててみました。お父さん・子どもたちの双方に行ったアンケート結果をみながら、ちょっと考えてみませんか。

井戸端会議同好会
今回のメンバー

- 凡** 太 60歳(孫4人の父OB)
- ハ** ナママ 45歳(2児の母)
- ト** マ子 40歳(2児の母)
- マ** メビー 30歳(1児の母)
- ポ** テ ?歳(1児のシングルマザー)

お父さんと子どもの会話について

★お父さんは子どもたちと1週間にどれくらい話しているのかな?



少数ですが、「話さない」と答えた子ども・お父さんがいました。理由の多くは「時間が無い」でした。

- ハ** えーっ！こんなにみんな話しているの。ちょっとショック。
- ト** こうなりたいていう希望でもあるかもね。
- マ** お父さんが忙しいおうちでも、お母さんがお父さんのことをどう子どもに話すかで休日の会話もかなり違う気がします。

★どんなことを話しているの？

	園児	小学生(低)	小学生(高)	中学生	高校生	お父さん
1位	園のこと	学校のこと	学校のこと	学校のこと	勉強のこと	学校のこと
2位	遊び・趣味	遊び・趣味	勉強のこと	勉強のこと	学校のこと	遊び・趣味
3位	友達のこと	友達のこと	スポーツ・芸能	スポーツ・芸能	スポーツ・芸能	友達のこと
4位	テレビ番組	スポーツ・芸能	友達のこと	趣味・遊び	社会の出来事	スポーツ・芸能
5位	家族のこと	勉強のこと	趣味・遊び	友達のこと	友達のこと	会社・仕事

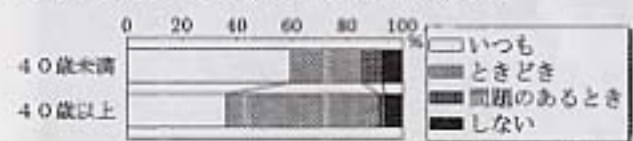
- ポ** 会話の内容をみると父子の答えがずれてるよ。ふしぎだなあ。
- ハ** でも社会の出来事を話してるなんて高校生になるとすごいね。
- 凡** しかし、将来のことや夢について話した父子が少ないのはさびしい。

「将来のこと・夢」「近所・地域」はベスト5には入りませんでした。その他「バカ話」「クイズ」「お母さんのグチ」「一般常識」「あいさつ」だけという父子もありました。



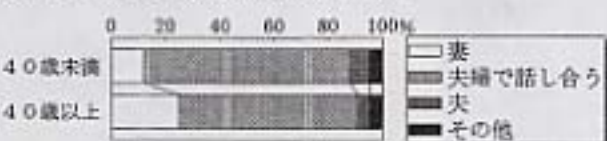
家庭でのお父さんとお母さんの関係

★子育てについて夫婦でよく話しますか？



ハ 日本の夫婦の平均会話時間は数分じゃなかったかなあ。若い夫婦はもっと話すのかな...

★子どものことを決めるのはだれ？



ト うちでは私が決めて夫はうなずくだけなんだけど、これも話し合ったことになるかな？

理想のお父さん像は？

★お父さんに望むもの(子どもへの質問)

	園児	小学生	中・高校生
1位	どこかつれてって	どこかつれてって	もっと買って
2位	いっしょに遊んで	いっしょに遊んで	ほっといて
3位	もっとほめて	もっと買って	どこかつれてって

★お父さんの役割(お父さんへの質問)

1位	子どもの話をよく聞く
2位	子どもと遊んでやる
3位	大事な問題の相談にのる
4位	きちっとしつける

園児の37% 中学生の18% 高校生29%が今のお父さんのままでいいと答えていました。「相談にのって」と「話を聞いて」はベスト3に入らなかった。

- ト** お父さんに相談にのってほしいという子どもが少くないのはさびしいね。
- 凡** 中高生でお父さんに一番望むのがお金というのはもっとさびしいよ。親はムリしないでほしい。

井戸端会議
メンバーの感想

みなさんも家族で話し合ってみてね。



凡 父親に遊びを求めるのは自分たちだけで遊ばなくなっただめだろうが。子どもの遊びが主体となる社会がないから。子どもは子どもどうしが一番。

ハ 良いお父さんになろうとお父さん達は努力しているんだろうなあ。これはちょっと前のお父さん達にはなかつたことだよ。

ト わが子を心から愛しひとりの人間として自分らしく充実して生きてれば、ムリにいいお父さん・お母さんしなくていいと思う。彼れちやうよ。

ポ まあアレコレ理想の形はあるでしょうがお父さんがいなくて子どもはそれを乗り越えていく力があるのでちゃんと育ちます。

マ 子どもにとって親ははじめて出会う大人。だからもちろん影響は与えるけど、でも全てではないはず。子どもは、ずっと大人です。

子どもにとってどんなお父さんがいいか。これは100組の父子がいれば100通りの答えがあると思います。しかし、男女共同参画社会が叫ばれ、世の中が急速に変化し、家族の形も変わりつつある今、私達は新しいお父さんの形・お母さんの形をそれぞれ手探りでしているといった感じではないでしょうか。

昔は厳しい親父 今はやさしいパパが主流に

井戸端会議同好会 凡 太

最近親父よりお父さんやパパと呼ぶ方が多い。昔、父親は地震・雷・火事・親父といわれ怖い存在であったが、今は子どもとよく遊ぶ優しいパパが多い。

当時私のまわりの親父達は私も含め、経済力とか学歴とかにかかわらずもう少し威厳があったように思う。イメージとしては「サザエさん」の波平のような感じか。もっとも子どもの年齢が上がってくると、威厳も薄れ時には軽蔑の対象となることもあったが、怖さがなくなるわけではなかった。そして、何かに感化されることなく良くも悪くも自分流の子育てをしようとしていたと思う。それが親父の怖さでもあった。

今は親が子を怖がっているふしがある。子どもが何か問題を起こさないようにそっと見守っている。怖が

るまではいなくても、我が子に遠慮したり機嫌をとろうとしているように私にはみえる。そして、きちんと抑えなければならぬところもうやむやにしてしまふ。子供はそんな親の態度や心の動きを敏感に感じ取って、それをうまく利用しているのでは、と思えるときがある。

まもなく21世紀だ。新しい時代をになう子どもを育てる父親像はこれからどのように変わっていくのだろうか。昔の親父とは違うが今のパパでもないと思う。できれば子どもから尊敬され慕われる理想の大人でありたい。でも父親も一人の人間。弱さも欠点もある。それを素直にさらけだし、ありのままの姿を話題にできる。そんな父子の間柄を築いてほしいと思う。

